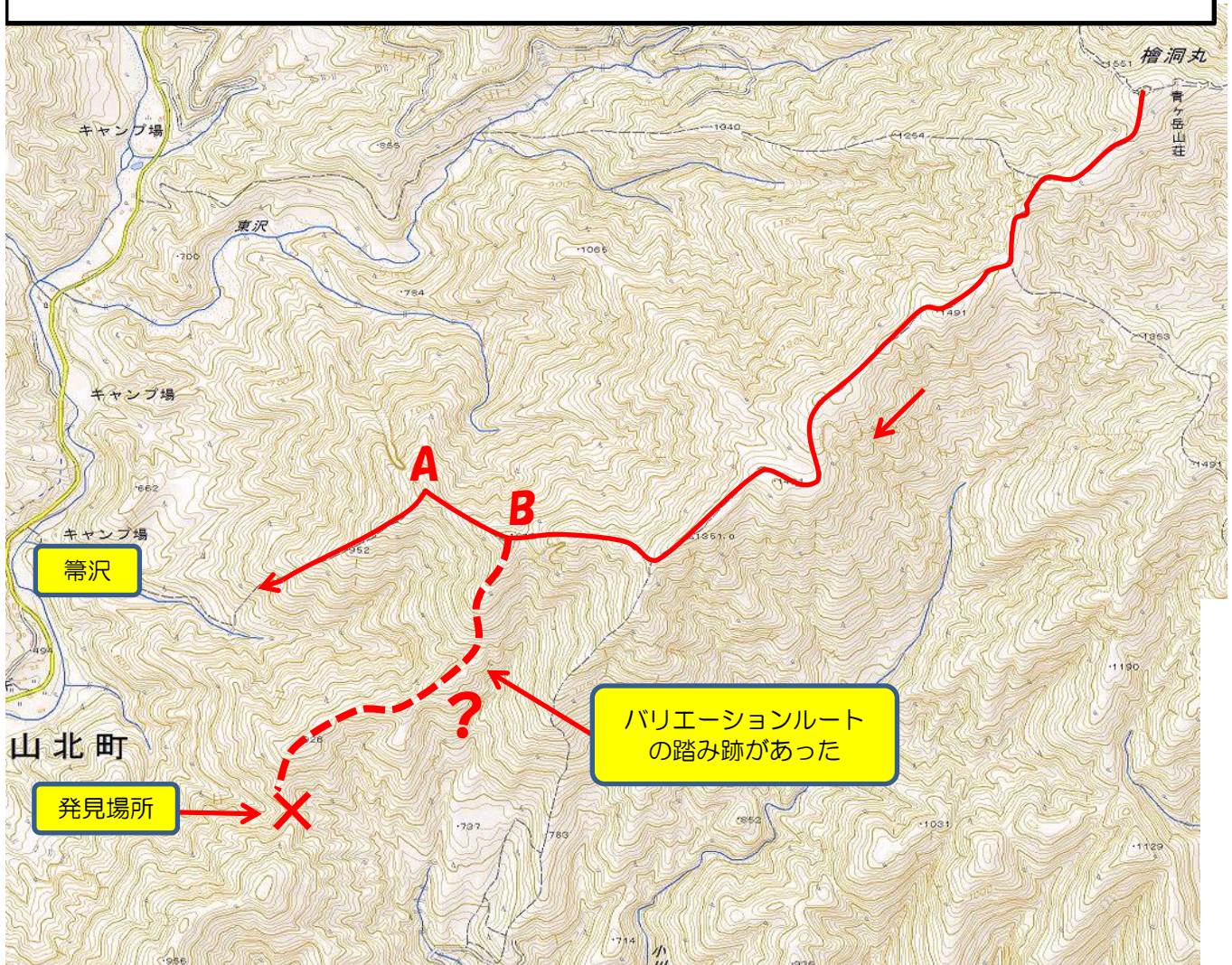


石棚山遭難(2010年10月)

70歳男性は箒沢に下る予定が、道の分岐で明瞭な足跡があったためバリエーションルートに迷い込む。日没間近になり警察に救助を求め事なきを得た。



解説

里山では、複雑な地形に加え、明瞭な道に至る処に存在することがよくある。この事例では、Aの分岐とBの分岐は曲がる角度がよく似ているため、道を間違えることも頷ける。

遭難者は途中で通過困難な堰堤が出てきたので引き返した。しかし、途中で日没間近となり、疲労と不安のため119番通報をし事なきを得た。

複雑な地形の里山では、地形図とコンパス、携帯電話の地図アプリの使用をお勧めしたい。コンパスは実際に何度も使わないと持っているだけになってしまうので、ぜひ、普段の山行で使ってほしい。

また、携帯の地図アプリは、優れていて是非、ご利用いただきたい。道に迷ったときに脱出方法は、何を使ってもいいじゃない。と私は思う。